

箕輪町 議会だより

みんなのぎかい

Minowa Town Assembly News

第86号

2023.11.1

知っておこう！

令和4年度 町のおサイフ事情

〜そのおカネ、ムダなく使えたか〜

長野県指定天然記念物「木下のケヤキ」
樹齢伝承1000年の巨木(旧木下北保育園敷地内)

CONTENTS

- 令和4年度決算が認定されました … P2
- 町政のここが聞きたい！
- 予算編成がはじまります … P3 一般質問 … P7～21
- 審査のなかみ … P4・5
- 議長の日 … P22
- 9月定例会で決まったこと … P6
- 活動日誌 … P23
- 議員のすがお … P24



議会ホームページ

▶ 一般質問の様子を動画で！ 各議員の二次元コードを読み取ると動画を視聴できます。

知って
おこう!

町政の運営は良好 9億円の黒字



黒字が良いとは限らない!

町税、国からの交付金、ふるさと納税の寄附金など、歳入が予想以上に増えたことが黒字となった主な理由です。しかし、大幅な黒字を財源にして、ほかに使うべきところがあったのではないかとの見方もあります。本来は収支のバランスがとれているのが理想です。

一般会計 町のお財布

歳入決算額	128億2,670万円	前年度比 99.02%
歳出決算額	116億1,180万円	前年度比 98.68%
R5年度へ繰り越す財源	2億5,047万円	前年度比124.02%
実質収支額	9億6,443万円	前年度比 97.96%

※令和4年度決算の詳細情報は、「みのわの実11月号」に掲載されています。



決算とは、予算を執行した結果、どのような成果を挙げたかを示す「成果報告書」。議会は、町民の皆さんに代わって、予算が正しく使われたか、町民の暮らしや経済に効果があったのかを確認して、町政を審査します。

令和4年度
町のおサイフ事情
そのお力ネ、ムダなく使えたか

9月定例会で、
令和4年度の決算を
議会が認定・可決
しました。

学校の教育環境の整備にいくら使われたか

ゼロカーボン推進事業
費のうち、令和4年度
はいくら執行されたか

子育て支援事業
は何が行われたか

議員の視点

町の予算が目的どおりに、効果的に使われたのか。議員それぞれの視点で審査し質問しました。

空き家対策事業で空き家は減少したのか

プレミアム付き応援券等販売事業費9,690万円のうち経費はいくらか

繰越明許費(翌年度に繰り越して使用する経費)は適正か

松本代表監査委員より



令和4年度の決算審査の結果から、予算の執行状況、資金運用、財産管理は適正に行われていました。財政力指数、実質公債費比率も良好な数値で健全な財政運営がなされています。

収入面では、ふるさと応援寄附金の大幅増があり、自主財源確保に貢献したが、コロナ対策、物価高騰対策等、新たな支出も増えており、厳しい財政状況に変わりはありません。

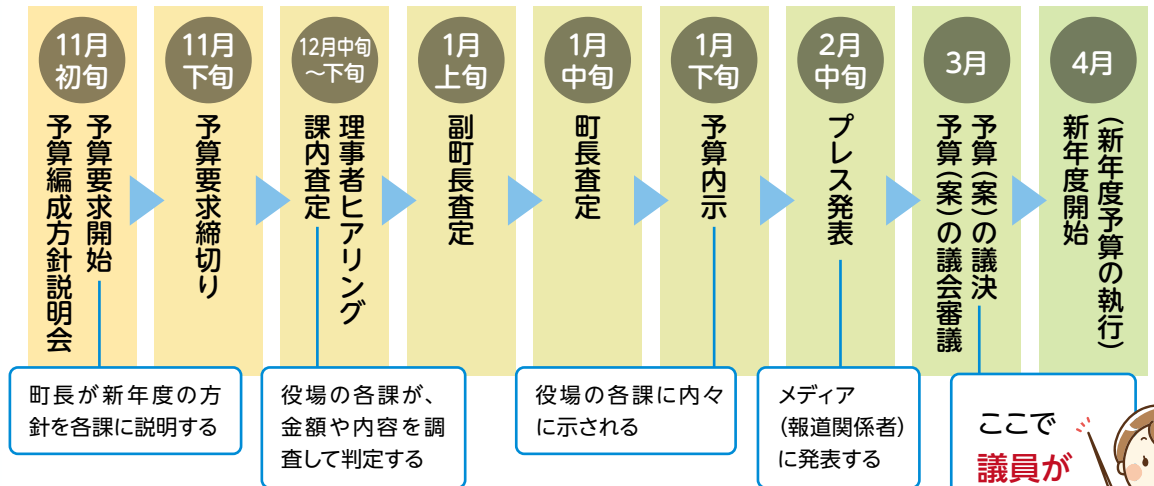
令和6年度 予算編成がはじまります。

こんな方法で
あなたの声を届けることができます。

今からスタート 予算編成の流れ

決算審査と来年度の方針を踏まえて、
新年度の予算がつくられていきます。

※この予算編成の流れは、例年のスケジュールにより作成しています。



予算はあなたの声から

議員に伝えて

町ホームページに議員の連絡先があります。皆さんが選んだ15人の議員のどなたにでも話をしてください。



箕輪町 議員



町長への手紙

町ホームページに案内があります。また役場に専用はがきも設置されています。



箕輪町 町長への手紙



まちづくり地区懇談会に参加

町の現状説明と各区の抱える課題などについて、直接町長と意見交換ができる場です。町内全区を巡回し実施します。



知ってる？

予算以外の意見はパブリックコメント

パブリックコメントとは？

「パブリックコメント」は、重要な政策や条例を決めるときに、情報や資料をあらかじめ公表して、町民の皆さんの意見を募集するしくみです。最近では、「町民体育館の耐震改修・一部増築工事」や、「箕輪町こどもの未来応援条例（案）」についての意見が、募集されていました。積極的に参加しよう！

私たちが町政に参加できるんだ！



総務
産業

令和4年度 一般会計歳入歳出決算認定

Q 安心安全パトロール隊員の活動は。

A 通常のパトロール以外にも公共施設や一般住宅の防犯活動や道路の陥没等の確認を行っている。



文字が薄くなった看板の交換

Q 地域おこし協力隊の成果は。

A 数字的に表すのは難しいが、地域の活性化に向けた取り組みなど、民泊施設設置に向けた動き等の活動をしている。

Q 飼料高騰緊急支援事業補助金で飼料はどの程度高騰しているか。

A 昨年から1トン当たり2～3万円値上がりしている。



飼料価格高騰

Q 「夢まちLabo」の利用状況は。

A 各スペースの利用は1,851人、レンタル会議室は290団体が利用した。

Q 住宅使用料の未納金の状況は。

A 増加している。借りたまま別の場所に住んでいるケースもあり、弁護士に相談し法的解決に向けて取り組んでいる。

総務
産業

令和5年度 一般会計補正予算(第4号)

Q 照明機器LED化CM業務委託は。

A 役場庁舎、保健センター等で計画している照明のLED化の設計・施工一体型に関する業務委託220万円。

Q 女性の働きやすい環境づくり補助金は。

A 新たに5件分150万円を計上するもの。

総務
産業

令和5年度 下水道事業会計補正予算(第2号)

Q 監視制御設備工事の内容は。

A 設置後30年以上経過しているため、故障前の事前更新工事。



箕輪浄水苑



本会議前に様々な案件に関して審議しています。

総務
産業

現地確認

日時 9月13日(水)

場所 旧松山家隣接地(木下)、町道749号線(小河内)、箕輪宮農組合(福与)



旧松山家隣接地
購入予定土地の確認



町道749号線
旧おごち保育園周辺町道の確認



箕輪宮農組合
スマート農業・自動草刈り機実演視察

福祉文教 令和4年度 一般会計歳入歳出決算認定

Q 学童クラブ東部教室の改修内容は。



学童クラブ東部教室改修

A 子ども子育て支援金を利用して、東小学校体育館の器具室を40人まで利用できる部屋に改修を行った。

Q ナイトウォーク参加者の増加にともない、安全面の確保から参加費の増額をすべきではないか。

A 今年度は定員・参加費は4年前と同程度を予定している。今後は増額の検討の余地がある。

Q 要介護認定者支援金の要介護度別の給付人数は。

A 要介護1… 144人 要介護2…127人
要介護3… 69人 要介護4… 35人
要介護5… 29人 給付合計 404人。

Q 子宮頸がんワクチンの接種人数が前年度37人から388人と増加をした理由は。

A 副反応による国の積極的な接種差し控え指導が、解除されたため。

Q 松島保育園劣化度調査の内容について。



松島保育園

A 建物の内装や外壁に関して設計会社による調査を行った。改修には1億円かかるのではないかと。

福祉文教 令和4年度 介護保険特別会計 歳入歳出決算認定

Q 介護認定調査員の人数と訪問回数は。

A 調査員は現在4名、訪問回数は月によってばらつきがあるが60回から80回になる。

福祉文教 令和4年度 国民健康保険特別会計 歳入歳出決算認定

Q 国民健康保険は、加入者が減少している。医療費の増加に対応できるのか。

A 確かに加入者の減少が続くと思われるが、基金の積立があるので、すぐにどうこうというものではない。

福祉文教 令和5年度 一般会計補正予算(第4号)

Q 上伊那福祉協会負担金の内容は。

A 南箕輪老人ホームを令和5年3月末に閉鎖することにもない、入所者を他施設へ移動した。その間の人件費および光熱費増等の負担金。

福祉文教 現地確認

日時 9月14日(木)
場所 中部小学校、木下保育園
学童クラブ東部教室

日時 9月15日(金)
場所 小規模多機能型居宅施設「なの花」(北小河内)



中部小学校
給食の配膳準備と試食



中部小学校
避難所用トイレの設置場所確認



木下保育園
園庭の水たまりを確認

9月定例会で 決定! こんなことが決まりました

9月1日から9月19日までの会期で開催されました。一般質問には、14人の議員が登壇し町政運営を質したほか、補正予算、条例制定など19議案を原案どおり可決しました。

補正
予算

220万円



照明機器LED化 CM業務委託料

ゼロカーボン施策。庁舎等で照明LED化の設計監理に関する業務委託

補正
予算

150万円



女性の働きやすい 環境づくり補助金

女性従業員の確保や定着等、施設改善に取り組む中小企業に対する補助

補正
予算

659万円



上伊那福祉協会負担金

協会所有施設の光熱費増などによる負担金

陳情と請願

みんなの声

賛否が分かれた審議

※討論の詳細は会議録検索システムで後日議事録を閲覧することができます。



提案の趣旨	提出者	入杉百合子	小出嶋文雄	南 朋子	平出 広志	小口 智世	中村 政義	中澤 清明	上田 学	北野めぐみ	金澤 幸宣	白鳥 真吾	中野 友美	岡田建二朗	寺平 秀行	荻原 省三	結果
日本政府に核兵器禁止条約への参加・調印・批准を求める意見書の提出に関する請願	野口 俊邦	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	—	採択
森友改ざん問題政府と国会で真相究明を(陳情)	矢澤 親男	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×	—	不採択
国に対し「健康保険証の継続を求める意見書」の提出を求める陳情	新日本婦人の会 箕輪支部 代表者 春日 富貴子	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	—	不採択
国に対し「健康保険証廃止の中止を求める意見書」の提出を求める陳情	上伊那医療生活協同組合 木下・西部支部 代表者 伊澤 千加男	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	—	不採択
		みなし不採択															
「健康保険証」の存続に関する意見書の提出を求める陳情	長野県保険医協会 会長 宮沢 裕夫	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	—	不採択
		みなし不採択															

議長は原則として採決に加わらない。 ○→賛成 ×→反対

人事案件

議会は、地方自治法第162条の規定により、副町長の選任に同意しました。



副町長 浦野邦衛氏 再任

議会の同意をいただき副町長に再任となりました。町長の補佐役として、今まで以上に尽力する決意でございます。よろしくお願いいたします。

選挙じゃない?!

副町長ってどうやって決まるの?
①町長が指名 → ②議会に提出 → ③町議会の同意を得る → ④決定

町長の指名で副町長が選任されても、議会が反対すると選任できない仕組みになっています。今回の議案には、質疑や討論はなく、全員一致で同意しました。



この事業に注目!

事業名 令和5年度町単独脱炭素移行・再エネ推進交付金重点対策加速事業 公共施設整備事業CM業務委託
事業費 3,080万円、随意契約にて締結

ずいけいやく
随意契約
って何?

例外的に特定の業者に、こちらから選んでお願いするのが随意契約。
入札やせり売りなどの競争の方法によらず、任意に適当と思われる相手方を選んで結ぶ契約。



この契約の妥当性、事業の進捗と完成をみんなで見届けましょう。

町政の
ここが
聞きたい!

一般質問

議員14人が町に
質問・提案しました。



主な質問	議員	ページ
森林ビジョンの策定の意義と目指す姿は	平出 広志	8
地震と異なる災害等についての防災訓練は	北野めぐみ	9
ゼロカーボン推進施策 一般家庭向けは浸透不足では	金澤 幸宣	10
認知症を知りともに生きるための町対応は	中村 政義	11
こども条例(仮称)にこどもの権利の理念を	小口 智世	12
インボイスによる業者への影響を最小限に	岡田建二郎	13
ゼロカーボン事業の計画と随意契約について	南 朋子	14
令和4年度決算の総括は	小出嶋文雄	15
もみじ湖観光に対する町の考え方は	上田 学	16
専業以外の多様なモデルの新規就農者に支援を	中野 友美	17
マイナンバーカードと保険証一体化の考えは	白鳥 真吾	18
再来年の町制70周年に向けての事業計画は	入杉百合子	19
金利上昇が見えてきたが資金運用の実績は	寺平 秀行	20
高齢者世帯の健康な食生活支援について	中澤 清明	21

どなたでも自由に傍聴できます



一般質問を動画でご覧いただけます

※視聴にはQRコードリーダー（アプリ）が必要です。
 ※動画視聴には通信料が発生しますので、Wi-Fi等の利用を推奨いたします。
 ※QRコードは㈱デンソーウェブの登録商標です。



議会を傍聴 ふきはら大学院の皆さん（傍聴者数23人）

●初めて議場に入り、傍聴させていただきました。今回選挙で女性議員が多く誕生したことも頼もしく感じています。身近なことから、広い視野に立っての質問など、一生懸命考えてくれていることが伝わってきました。



●議員さんには地域に入り、地域活動に参加しながら、議員活動をしてほしいと感じています。そこでつかんだ行政課題について、箕輪町全体の視点に立った質問をしていただくと、町民としてはありがたいと感じました。



●子どもたちに託す未来がイメージできるような、10年後、20年後を見据えた質問もあったように感じました。これからも未来志向でご活躍ください。



知ってる?

みのわまちのいいところ

箕輪町のいいところ、があったら教えてね。
 ☞ gikai@town.minowa.lg.jp

お待ちしております!

沢旧屯所

箕輪町消防団第1分団沢旧屯所は木造モルタル2階建て。沢区民の皆さんが資金を出し合い1963年末ごろ建設されたとみられ、現在の詰所に移るまでは地域の安全を守る拠点となっていました。老朽化のため解体工事が行われました。



沢旧屯所 火の見櫓^{やぐら}

「解体前の消防施設を記憶にとどめてもらえれば」と、一般公開が行われ、OBや現役団員の皆さんで記念撮影会が行われました。1953年に建てられた火の見櫓はこれからも地域の安全を見守り続けます。



森林ビジョンの策定の意義と 目指す姿は

ひらいで ひろし
平出 広志 議員



町長 今後50年の森林政策の方向性を出す



議員 森林ビジョンの議論がスタートしたが、このビジョンの策定の意義と目指す姿は何か。

町長 森林整備計画に基づいて森林ビジョンを策定したい。森林には様々な機能があると同時に個人林の管理や活用等に多くの課題がある中で、町の全民有林5,364haを対象に森林整備や有効活用を検討するもの。町民と森への関わりについても考えたい。

議員 森林ビジョン策定後の事業展開は。

町長 ただちに実行すべき事は森林の分類を行ない所有者に提供する事、災害リスクの高い場所の確定や守るべきアカマツ林の先行伐採を先行して行い、5年後、10年後のアクションプランを決めてより具体的に実行して行きたい。

速やかな 鳥獣防護柵の設置を

議員 南小河内から北小河内区の鳥獣防護柵の未設置地区への設置を早期にすべきである。

町長 この地域の防護柵設置の効果は出ている。国、町が10分の9の負担で残り1割が受益者負担の国庫補助制度等はある。受益者や地域の声を聞くなかで実施の手法について考えて行きたい。

議員 この事業が里山を知る等、森林ビジョンのモデル事業となれるよう希望します。

健康で幸福な 自治体をめざして

議員 従業員の健康を経営の視点で考え、健康管理を進める「健康経営」の取り組みを町役場にも取り入れてはどうか。町内企業ではKOA(株)が認定を受け全社体制で取り組んでいる。

町長 当町でも健康推進に向けた取り組みは実施しているが経営の概念が入るため、ご提案について考えて事例を含めて研究させて頂きたい。



議員 すべての住民が「健康で幸せな町づくり」に向けた新たな取り組みが注目されているが箕輪町にも取り入れては。

町長 現在、健康づくり推進条例を策定して推進しているが、健康を町づくりそのものに入れていくことは必要であると考えている。なお、すべてを健康の切り口でやっていく手法も起爆剤になるとも思っているので考えて行きたい。

議員 運動習慣がないか、興味を持たない40代から60代層への積極的なアプローチが不足しているのではないかと。生活習慣病予防としても重要である。

町長 勤労者世代に関心を持っていただけるために企業への働きかけをしている。ウォーキンググループ等で参加いただいている企業も増えているが、今後元気センターで新たにスポーツを始める準備段階として専門家にも対応して頂きたい。大変難しいが、大変重要なポイントとして認識はもっている。

議員 歯科ドックの受診率が低い数値となっているが。

町長 令和4年度で27.5%で全体としては低いものではないが口腔事業の重要性は最近特に言われているため率を上げる必要性があるので今後研究させて頂く。

みのわ太鼓45周年 記念事業実施を

議員 令和6年に設立45周年を迎える「みのわ太鼓記念事業」を開催すべきでは。

教育長 保存会の要望等をお聞きし、来年度予算に反映したい。

町長 みのわ太鼓のご苦勞に報いるようなことは必要であると思っている。



地震と異なる災害等についての防災訓練は

きたの
北野 めぐみ 議員



町長 風水害等を想定した訓練も検討



今後の防災・減災対策は

議員 地震と異なる災害等についての防災訓練の必要性は。

町長 来年以降についてはまだ検討中だが、ここ2年ほど地震に関わる訓練をしてきているので、風水害を想定した訓練もあっていいかなと思っている。

議員 水害の際に必要となる土のうの管理倉庫設置の補助は。

総務課長 町の消防施設の補助金や、宝くじを使った助成金も考えられる。それらを検討しながら、区長さんと相談させて頂きたい。



福与区 防災土のう置き場

議員 女性の防災士の現状と啓発は。

総務課長 町の防災士連絡会には、3人の女性が入会しており、女性の占める割合は全体の6%である。今後多くの方に資格を取得頂けるように、活動の内容、また、補助金の制度などについて広報などで周知したい。

未満児保育の充実は

議員 子育て世代の母親から、下の子の出産に伴い仕事を休んでいるために、上の子の未満児の保育を断られ、2人の子どもの面倒を見ることになった大変さに悩んでいるとの相談を受けた。下の子の出産に伴う産休中の未満児保育の現状は。



町長 未満児の受け入れについては、産前産後の3ヶ月以外については、一旦お家へお戻り頂く形になっている。私はこの問題を初めて聞いた部分があるが、ある意味、第2子以降の出産を躊躇する要因にもなりやすいと考える。できうる限り継続利用を可能とする仕組みが必要だと思う。しかし、国の基準との整合性の問題や、保育士の確保の問題があり、困難な状況にある。

議員 未満児の一時預かり制度の期間の延長などの施策ができないか。

町長 保護者の心理的、肉体的な状況が2人の子育てを許さないといったような場合と、具体的な物については、ぜひ役場の方に相談して頂きたい。この案件はやむを得ない案件である。未満児保育の問題についての施策は、研究させて頂きたい。

今後のがん予防の推進と支援事業は

議員 子宮頸がんのワクチンの効果についての考え方は。

町長 国においては副反応などのデメリットよりも、予防効果のメリットの方が大きいと言うことを確認してワクチン接種が推奨されている。私どももこの考え方に基づいて実施している。強制ではないが、接種について正しい理解を頂いて、接種に向けてお願いしている。

議員 キャッチアップ接種最終期限についての対応。

町長 現在、小6から高1までの予防接種を受けているみなさんの摂取率が、該当者の613人中、なんと11人である。キャッチアップの問題はもちろんあるが、実は、この今の小中学生の皆さんの将来がどうなってしまうのか、こちらの方が大きな問題だと思う。キャッチアップの最終年度を迎えるに当たり、通知を発送して接種を希望する方が計画的に接種できるようにご案内させて頂きたい。この問題は経過があって難しいが、現在の状況と特に9価ワクチンの効果について、皆さんにご理解頂くように、努力して参りたい。

その他の質問

- 本年度の防災訓練の成果と課題
- 孫育ての祖父母に対して子育てを理解するための施策について
- 町のがん検診受診の現状と課題

ゼロカーボン推進施策 一般家庭向けは浸透不足では

かなざわ ゆきのぶ
金澤 幸宣 議員



町長 脱炭素他 快適な暮らし/防災力を高める



議員 ゼロカーボン推進は、町関連施設事業の進捗は順調と推測する。反面、一般家庭向け補助金交付事業はさほど進んでいないのではと感じる。

町長 町として強力に推進する意味合いから一般家庭向け補助金は補助率・上限額とも大変有利な状況にした。当初予定より若干進んでいないが、決して今後見込みがない状況ではない。

議員 新たな浸透策は何かあるか。

町長 家計の課題もあるが、電気事業者・金融機関の協力を得て単にゼロカーボンだからするのではなく、太陽光発電関連機器は快適な暮らし、防災力を高める意味でも町として支援、PRをしていく。



一般家庭への普及が望まれる
最適なゼロカーボン「V2Hシステム」

議員 脱炭素社会の到来は必死。町として今後更に何をしていくか。

町長 森林吸収量増加策、電力の地産地消を進めるため土地利用型太陽光発電を一定程度考えていかななくてはならない。

町事業施策/編成に当たり 重要視することは何か

議員 税金で成立っている公共事業は、個別の利益に配慮しつつも常に全体最適が求められると認識する。町諸事業施策並びに予算編成に当たり重要視することは何か。

町長 地域活力を維持するため地域基盤の確保=防災/交通/医療福祉の強化。DX推進/ゼロカーボン取組み/ICT教育発信により自治体の存在感を高める。社会経済情勢変化への対応力を重視。

議員 実際に事業執行する役場職員の資質向上・人材育成をどのようにしていくか。

町長 人材育成基本方針を定め研修/資格取得を実施しているが見直しも必要。施策形成能力、職員が望むキャリアデザインの人事配置が出来るようにしていく。

議員 それを具現化するための組織づくりをどう考えているか。

町長 組織の問題と同時に評価が必要。人材評価することで組織機能が高まる。権限を明確にし各自が経営意識を持ってもらうため役割分担を明確化し従来の仕事の在り方の見直しをしていく。

議員 二元代表制の中、議員は行政を「監視と評価」をするが、町(執行側)が議員に望むものは何か。

町長 議会は、執行部を追求したり要求することが監視と言うことではない。執行部と共に町民との合意形成を創り出す場と考える。

町内“火の見やぐら”の 将来はどうなる?

議員 役目を終えた感がある火の見やぐら。町内に残る檣の実態は。

総務課長 町内に29基残存。防災行政無線の取付け又は消防ホースの乾燥何れか、双方併せ23基。どちらの機能もない全く活用されていない檣が6基有るという状況。



⑤松島坂井の撤去要望が出ている火の見やぐら ⑥消防ホースの乾燥と防災行政無線の取付けのみに変わった塔

議員 本来の用途以外の有効活用はないか。例えば、町おこしのツールとして維持管理・保存してはどうか。全く利用していない檣は、倒壊リスクがある。また、撤去要望のある檣を今後どうしていくか。

町長 再活用は可能性がある提案。安全が最優先であるが、区の要望があれば活用法を検討したい。不要の檣は区要望があれば町負担で順次解体・撤去していきたい。

その他の質問

- 不法投棄監視員見直しが必要では
- 小中学校男女同室着替えの実態は
- 学校校舎の断熱性能の現状は

認知症を知り ともに生きるための町対応は

なかむら まさよし
中村 政義 議員



町長 家族を支え共生する地域づくり



議員 2025年には、国では65歳以上の5分の1が認知症になると推計、これに当てはめると、箕輪町では1,300人を超える認知症患者が考えられる。認知症を知りともに生きるための町対応は。

町長 2000年の介護保険法の成立以来、認知症の方の増加と認知症になった方が地域で尊厳を持ちながら暮らせる環境づくりのための施策を実施。今後は認知症に関する周知と理解を促進する取組、家族を支え、共生する地域づくりを進めて行く。

議員 町として具体的な認知症の人の把握への取組は。

町長 認知症の方の正確な把握はなかなかできない状況である。介護保険の認定申請の際に、認定申請理由として認知症となれば、把握できこれが約2割。それ以外の方は、介護保険に至らないが認知症状を持っている方は相当数いるのではと考えられる。どうやって初期段階で認知症の症状があるということを行政と周知、医療・介護につなげていくかが大きな課題。

消防団員活動は

議員 消防団の実質活動をする人員の減少で、特に平日の昼間に関して、地元において有事に、速やかに対応できる団員は、区によっては殆どない状況、配備された搭載車両等も出動できない状態も生まれている。町としての考えは。

町長 毎年、消防団員の確保には務めているが、退団数が入団者数を上回る状態が続いている。現在定員400人のところ、358人の団員数となっている。実質活動をする人員も減少傾向、現在休団扱いの団員を除くと192人ととどまる。消防車両の使用実態から言えば、団員数に対する配置・配備が過剰傾向にある。

総合防災訓練の今後は

議員 総合防災訓練の今後の方向性は。

町長 災害はいつ起きるかわからない、災害は夜とか朝に起きていく。そういった時間帯に訓練も考えていく必要はあり、モデル地区を設定して、行いたい。

小中学校の現況は

議員 夏休み明けの生徒・児童の様子は。

教育長 中学校の生徒・小学校の児童は夏休み中、大きな事故、けががなく、二学期が順調にスタートしている。

議員 夏休み寺子屋教室は、3年ぶりに開催、各教室で個性的な学習もあったようだが。

教育長 本年度の開催は14分館で実施。特色ある学習としては、座禅体験・ニュースポーツ・地域行事をその場でやったり、箕輪学かるたを活用した地域学習。

議員 学童クラブの現況について、特に南部教室の対応は。

教育長 少子化と言われているにもかかわらず、利用者は増えている。南部教室は、今の場所に対応できることをまずやって、更にそれできないことについては、検討をしたい。



松島区東町二常会の防災訓練



手狭になった学童クラブの南部教室

その他の質問

●みのわ祭りについて

こども条例（仮称）に こどもの権利の理念を

おぐち ちせ 議員
小口 智世 議員



町長 少子化対策のため育成支援条例に

議員 国連「子どもの権利条約」を批准してから約30年、今年4月に、日本でも「こども基本法」が施行された。現在作成中の、「箕輪町こども条例（仮称）」と、国連「子どもの権利条約」・「こども基本法」との関係は。

町長 「こども条例（仮称）」の制定は、「こども基本法」ができる以前から考えていた。基本法もできたので、それも議論の俎上そじょうに載せながら制定したい。

議員 女性、マイノリティ含め、人権を尊重する姿勢は、町民がありのままを認められる誇れる町につながる。こどもの権利、特に意見を述べる権利を尊重した条例にしては。

町長 少子化の進行が非常に激しい。こどもの育成を支援する意味での条例。子どもの権利を度外視するつもりはないが、そこを中心舞台にする考えはない。



国連子どもの権利条約4つの原則

多様性を認める 学びの実現を

議員 小学校から大人数の中学校に進学して、学校に行けなくなる事例をよく聞く。画一的な教育を見直す必要もあるが、先生の負担を軽くするためにも、箕輪中学校を少人数学級にする考えは。

教育長 教員定数法で小学校は1学級35人、中学校は40人と決まっている。さらなる少人数化を進めるには町費の教員の配置が必要なので、難しい状況にあると思う。

町長 少人数学級がいいのか、習熟度別学級が必要なのか、改めて考える必要がある。35人が多いか少ないかという議論を、ぜひ地域の皆さんとでもしてもらいたい。課題の多いこどもたちへの支援や、算数・理科等の学科に教員の配置をした方がいいのか、全体像を見て議論してもらえるとありがたい。

議員 公設民営の居場所を作って、他の居場所や学校とつながり、コンシェルジュ的な役割を担っては。

教育長 こどもの個別の状況により、民間事業者との連携を求められたら、その都度検討している。中間教室があるので公設民営がすぐ必要とは考えていないが、情報収集したい。

町長 学校教育の補完の場所なのか、独立した教育機関としての場所なのか整理が必要。必要性を議論して、教育委員会で判断を。



不登校児童・生徒に 関する先生の相談先は

議員 居場所が先生の相談先になっている事例がある。先生にアンケートをお願いしたら、「相談先がない」と答えた先生もいた。こどもの気持ちと学校の立場との間で板挟みになることもあると思うが、先生が困ったときの相談先は。

教育長 不登校の児童・生徒については、チームで支援している。先生が困ったときは管理職、不登校支援コーディネーター等がいる。教育委員会には指導主事があり、県教委、南信教育事務所にも、いじめ不登校相談員がいる。

外国にルーツのある 住民への支援は

議員 外国にルーツのある住民への支援体制は十分か。

町長 町の人口2万4,577人のうち、外国籍の方は811人、3.29%と割合が高い。多文化共生推進員と外国人の生活相談員の2人が中心になり相談を受けている。内容は、生活相談、納税、生活困窮など。言語が違うことで、行政に関わる部分が理解できなかつたりするが、相談員が十分対応している。相談員が経験豊かな意欲的な方で、いろいろな講座等も実施していただき、外国人から信頼が厚い。相談員に負ってる部分が非常に大きい。

インボイスによる 業者への影響を最小限に

おかだ けんじろう
岡田 建二郎 議員



町長 業者に不利益が無いよう配慮する



議員 本年10月よりインボイス制度が施行され、売り上げ1,000万円以下の零細業者にも消費税が課税されるようになる。小規模工事や物品の納入など、町の発注する事業に関わる免税業者にも影響は小さくない。シルバー人材センターの方や水道の検針員さん、給食食材の納入する農家さんなど、これまで免税業者だった方々への影響が最小限となるよう格段の配慮が必要ではないか。また、3年間の8割減免、6年後までの5割減免など、制度の周知も図るべきではないか。

町長 昨年より市内のシステム改修など対応してきているが、町内業者の周知や準備は不十分と感じている。制度の施行に伴い、インボイスの未登録業者や免税事業者を排除したり消費税分を差し引いた契約などは考えていない。これまで町の事業に関わっていただいた皆さんには継続して事業が委託できるよう配慮する。

ゼロカーボン事業はCO² 排出量の多い施設や 事業者との共同を

議員 町の施設で飛びぬけて電気使用量・CO²排出量の多い下水道処理施設(浄水苑)で電気の地産地消が実現すれば、町の目標に大きく近づく。浄水苑南側の町有地を有効に活用し、ソーラーの設置はできないか。

町長 浄水苑は町の公共施設で突出して電気使用量が大きく、年間96万kwhを消費している。浄水苑敷地内の空き地には140万kwhの発電装置が設置可能で、理論上は電気の地産地消が可能なおうえ、大幅な余剰電力を生み出せる。施設の長寿命化も視野に、今後の課題として検討していく。



浄水苑(奥)の南に隣接する空き地

議員 町の進めるゼロカーボン事業は住宅の屋根に乗せるソーラーパネルの設置や電気自動車等への補助がメインとなっている。事業の基礎資料によると、経営者も積極的にゼロカーボンへの取り組みを進めたいと考えている。家庭の3倍ものCO²が排出されている工場や運送などの産業部門を巻き込んで、事業者との協力協同をさらに推し進めるべきではないか。

町長 6月の議会以降、町内の中堅業者を15社訪問し懇談したところ、前向きな回答をいただいた。町の補助事業の要件を検討し直す必要性を感じている。住宅の屋根だけでは十分ではないので、工業団地も含めて大小問わず状況を見極めながら検討を進めていく。

学校給食のカレーは スプーンで

議員 現在町内の小中学校ではカレーを箸で食べている。特別な理由がなければスプーンの導入を検討しては。

教育長 箕輪町では南小学校だけがスプーンでカレーを食べている。近隣の学校でもスプーンの使用が多いので、条件が整い次第、スプーンの導入を進めていく。

中学校から遠い家庭を対象に電動アシスト自転車のリースを

議員 箕輪中学校では車送迎が多いが、坂が長く距離がある西部・東部地区の生徒は車に頼らざるを得ない。一定の条件を前提に、電動アシスト自転車を町で用意し、生徒に貸し出す制度を検討してはどうか。

教育長 箕中生の車送迎の多さは課題として認識している。ご提案いただいたので、保護者の意見も聞きながら検討したい。



長い上り坂が続く通学路

ゼロカーボン事業の計画と 随意契約について

みなみ ともこ
南 朋子 議員



町長 原則入札方式、極めてレアケース



議員 文化センター敷地内の太陽光パネル、設置の計画内容は。

町長 大ホール3階の屋根にアンカーボルトで穴を開けると、雨漏りの可能性が高くなる。保育園側歩道から、東へ奥行き8mほどの花壇にはパネルを設置しない。

議員 花壇の活用者への対応に問題は無い。計画や変更について、説明がなく不誠実では。

町長 十分対応できていると思う。

議員 今後の変更は、携わる人と相談しながら進めてほしい。



文化センター壁の劣化状況

議員 西側入口付近、壁の補修工事の方法と同じ躯体くたいの劣化がかなり進んでいる。修繕はいつか。

文化スポーツ課長 躯体の損傷については形状の変更も含めて検討。入口の壁は、早期の修繕を計画中。

議員 補修で、何年持たせるのか。

文化スポーツ課長 概ね20年位。

議員 以前にも同じ箇所の補修をしている。見積りでは下地の処理もされず心配。玄関側だけでなく、壁部分の修繕もして。雨漏りの心配のない天井をしっかりと補修・補強して、パネルを乗せることを再検討できないか。ゼロカーボン事業には、相当額の財源が投入されている。今だけ、自分たちだけではなく、より有用な施設にする

ために、財源をもう少し未来の子どもたちのために充てて。

町長 長寿命化は必要だが、現実には対症療法になる。今ある施設をいかに有効に使うか。後世に負担を残すつもりはない。

太陽光設備設置の条例

議員 条例について、今の考えは。

町長 県条例が9月に上程されるのを受け、特別委員会で検討中。町として新たな条例が必要であるかどうか、私自身では決めかねている。

議員 県に届け出に行かずとも、町で解決できるのであれば、トラブルの際にも、より早い判断と対応ができると考える。県条例の上乗せ部分や、罰則については。

町長 町としてどうしたらいいのか。近隣の市町村、県とも考えが違ふ。町の判断にゆだねられても困る部分もある。技術者の精緻な理論も必要。罰則は町では持たず、県の条例にゆだねたい。

議員 町はパネル設置に積極的だとアピールしている。悪徳事業者も入り込みやすい。罰則を設ければ、その抑止力になると考える。

ゼロカーボン事業予算と 随意契約

議員 7月の定例協議会にて、CM方式の明豊ファシリティワークスと3,080万円で業務委託契約を締結したとの報告があった。随意契約で、

例外的な契約だが。

町長 原則は当然、入札方式。適切な運用でないことは間違いない。業者選定は、利益確保という意味合いで独立系のものとした。公共事業の実績が相当数あり、今回の工事内容に関する技術者がいて、大手ゼネコンとの関連がない、それらをクリアするのは1社しかなかった。

議員 リスクへの認識は。

町長 資質や能力が本当にあるか心配していたが、現在の対応状況を見ると、リスクはない。

議員 国が要求する工期に従うために、リスク承知で、効果を確認しての判断だったとは思ふ。であるならば、事後報告ではなく、契約前に協議会を開催し、説明がなされるべきだったのではないか。

町長 今後は十分に注意する。予算執行の段階で、全てのものについて、議会の承認を得る訳にもいかない。今後の反省材料にする。

議員 国の推進事業により、町の財源が圧迫されているように感じる。メディアはよく、大規模災害を地球温暖化やCO₂のみのせいにするが、そこにはっきりとした因果関係はない。スポンサーで成り立つ媒体の情報を鵜呑みにせず、何が本当なのか、海外ではどうか、町の皆さんがしっかりと見極めていただきたい。

その他の質問

● 広報誌等の配布の仕方について

令和4年度決算の総括は

こいでしま ふみお
小出嶋 文雄 議員



町長 やや大きめな決算になった



町長 実質収支額が9億6,400万円余という黒字決算である。コロナの影響もあるがやや大きめな決算になっている。歳入面では、景気回復とコロナに係る軽減措置の終了により税収が非常に良かったこと、ふるさと納税による寄付金の増加により長期債発行の大幅減ができた。歳出面では、生活支援策、経済対策ができた。必要な事業、重点事業、将来を見つめての事業も着手できた。

議員 新しい取り組みのジェンダー平等、DX、ゼロカーボンの推進は。

町長 ジェンダー平等について、基本目標に暮らしにおける男女共同、ジェンダー平等意識を持った行動の促進をかがけて、男女共同参画は男性の問題だと捉え着実に進める。

DXについては、DX推進室を設置して進めている。オンライン申請の普及、キャッシュレス決済の導入、公共施設の予約システムの推進、マイナンバーカード取得、利活用の促進のためコンビニ交付の手数料引き下げ、役場内の電子決済の推進に取り組み他市町村に比べて進んでいる。

ゼロカーボンについては、ゼロカーボンシティ宣言をして国の交付金の内諾を得て事業展開が進んでいる。箕輪町はゼロカーボンに取り組んでいる町だという認識を得ているのでそれに負けないよう推進する。

議員 今後の大きな事業の展望と将来負担増についての考えは。

町長 令和5年以降の予定大型事業は、町民体育館、武道館の耐震化と増築事業、公共施設を使つてのゼロカーボン事業、学校の長寿命化事業、図書館建設、産業用地の造成などが考えられる。歳入面では地方交付税、ふるさと納税寄附金など変動の要素はあるが大きな課題はない。歳出面でも公債費は令和4年度がピークであり今後事業の状況で公債費の割合は少しは上がるが、年度間バランスを取りながら事業を進める。財政調整基金などの基金は取り崩していくが、大きな財政的課題は考えられないと見込んでいる。

在宅介護の現状は

議員 在宅介護の現状は。

町長 施設入所の状況は、地域密着型サービスとして認知症に対応したグループホームが3つあり施設により待機者がいる所と空きのある所もある。看護小規模多機能型

居宅介護施設、小規模多機能型居宅介護施設はそれぞれ1か所あるが、登録者に余裕がある。それぞれの施設の特徴を地域に浸透させ支援に繋げていく。

議員 地域の取り組みと支える人の現状は。

町長 介護予防などのサロンなどの運営側の皆さんが高齢化してサロンの継続ができなくなってしまったところもある。地域の中で高齢の方だけでなく中年の方などの支える皆さんの育成する仕組みをつくらなければいけない。介護保険事業計画策定の中でも大きな課題である。

議員 医療と介護の連携の現状は。

町長 ケアマネージャーと医療関係者との連携、情報共有が必要であり、町でも医療と介護の連携検討会を設置して対応している。医療介護連携カードの活用など情報共有を進める。

箕輪町は訪問診療、訪問介護、訪問薬剤管理指導を受けている方が多い状況にあり、在宅医療と介護の連携が進んできている。



小規模多機能型居宅介護施設

もみじ湖観光に対する町の考え方は

う え だ ま な ぶ
上田 学 議員



町長 観光地化しようと考えてない

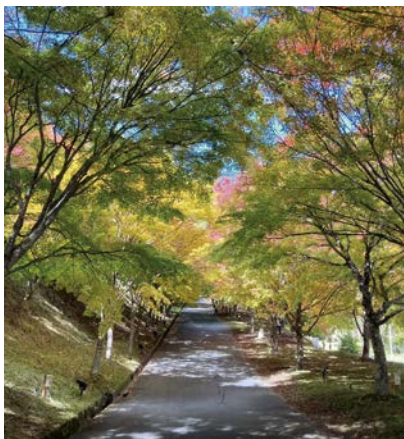


議員 もみじ湖観光に対する考え方は。

町長 箕輪町にきた観光客によるイメージを持って帰ってほしい。観光地化しようという意味合いのところは今のところ考えてない。

議員 今抱えてる課題は。

町長 駐車場の予約は申し込み制ですが、こういったものの改善はできないのか。事業費削減、財政の確保。特に申し込み制については、今年度は新たに全国のコンビニエンスストアの中で予約決済ができるようにする。またJR伊那松島駅からのシャトルバスの運行も考えている。また、経済対策という意味では地元事業者へ、もみじ湖の紅葉を見た後、行っていただくような仕組みというものを作りたいと思う。観光客に対する皆さんがふるさと納税の寄附に促進できるような手法が何とかできないか、そんなようなことを今後検討している。



ゼロカーボンを加速させるため

議員 ゼロカーボンを加速させるためにも、オフラインでもオンラインでも反対意見に向き合う場所が必要かと思います。専用サイト内で、例えばQ&A方式をとって、都度質問してもらい、その答えをオープンにして不明点を解消してもらうなど、毎年の実績経過が一目で分かるようなグラフや検索機能などのシステムを作り、情報の共有を行いながらゼロカーボンへの取組を未来につないでいき、そして取組を外に発信していくことにより他の市町村からも参考になるようなものになれば、ゼロカーボンの取組をより多くの町外の人に向けてアピールできるものになるのではないかと。

町長 私どもも啓発活動などで実施しているが、なかなか進まないということもある。これについては今言われたようなことを参考にして、何としても理解を得たいと思う。なぜやらなければいけないのか、こうすれば最終的には防災、暮らしの安全、生活のスタイルの向上など、そういったことまで踏まえて説明できるように工夫していきたい。

議員 具体的な成果は。

町長 家庭の太陽光発電5年間で2,500キロワットの設置を計画している。仮に自家消費を3割としても、余剰電力が175万キロワット出ることになる。これを町内で活用

し自家消費ができると地域内の経済循環に繋がる。公共施設ではLED化などにより事業に活用した一般財源もいずれの日に、実はクリアできるということを検討している。

中学生の職業体験の機会を増やしたらどうか

議員 職場体験学習の機会を増やしたらどうか。

教育長 今まで現状としてはなかなか受入れ側の事業者の皆さんがかなり手を取られるということがあって、受け入れが難しいという問題がある。それから中学校のほうも教育課程上の時間数の問題があって、なかなかそこを割く時間をしっかり取れないということがある。価値のある体験だと思っているので、そういったところをクリアにできるかどうかというのは、今後また中学校の先生たちと相談していきたい。

萱野高原の課題は

議員 萱野高原の課題は。

町長 現在の課題はなんと言っても老朽化した建物をどうするかという課題。撤去するしかないが、経費面から直ちに実施することはできないので大変困っている状況にある。

議員 現在、インターネット予約ができないということですがスターリンクという衛星インターネットサービスを取り入れてみては。

町長 検討させていただく。

専業以外の多様なモデルの 新規就農者に支援を

なかのともみ
中野 友美 議員



教育長 町単独支援を含め検討する

議員 「箕輪町農業応援団計画」の総括と、第2期への課題。

町長 物価高騰に対する支援、スマート農業の導入など、生産効率は一定程度上がった。6次化の推進は、みのわテラス施設全体の売り上げが約3.5倍となった。

有休農地は、農業委員会の活動により、減少した。

担い手の確保・後継者不足は非常に深刻。新規就農者への農地の確保のニーズにも応えきれていない。地産地消を進めて、地域の中で作物が循環するよう推進する。



リンゴ畑

議員 新規就農に対する町の支援と、その状況は。

町長 新規就農者育成総合支援事業、就農資金貸付優遇措置の支援、就農開始後年額150万円を交付などがある。制度開始以降、19名活用した。町独自の支援は、新規就農で来られた方の住居費の補助金、農業機械の導入補助金などがある。

議員 現在、新規就農者の基準は、所得250万円以下、年間の就農時間が2,000時間以上である。収穫期まで収入が得られず副業がやむを得ない農家や、事業を掛け

合わせた多様な農業事業は、支援が受けられない。本当に担い手の確保を目指すのであれば、箕輪町独自の新規就農モデルの支援が必要ではないか。

町長 基本ベースは専業農家を選択した人だと思ってきたが、確かに疑問だ。町として国の制度の考え方について要望したい。町単独も含めて、支援を検討していく。

副町長 専業農家を育成していくのが新規就農支援事業の目的だった。昨今では半農半Xなどもスタイルの一つ。国も若干視野に入れている面もあるが、政策的には落ちていない。

議員 土地の集約・集積の推進と、農機具(中古)の窓口設置による利用推進も必要だ。地元の若者が地元で挑戦するのを支援することで、農業という選択肢が増える。

町内公共公園の営利目的 利用と、電源等の貸出し の考えは

議員 みのわ天竜公園やもみじ湖広場など、活用について町の方針、活用の考えは。

町長 不特定多数の皆さんがいつでも利用できるという状態にしていくのが本来の姿だ。特定の方が使うのは限定的としたい。

議員 令和4年4月1日適用の使用許可基準には、物品の販売、または頒布について、対象施設内での販売として不適当な内容でないこと

となっている。令和3年までの、「営利目的でないこと」とした考え方に変更があったのか。

町長 町内事業者のもみじ湖での物販が定着してきたり、コロナ下で飲食店によるテイクアウトのイベントなど催しが出てきた。公と民の主催の違いに関係なく「地域のにぎわいを創出するイベント」として捉え、営利目的のイベントも一定程度可能であると軌道修正した。

議員 公園に付帯する電源水道などについて、イベント団体へ貸し出す考えはあるか。

建設課長 貸し出しは可能。内容によっては無償利用提供も考えている。申請時に申し出を。

議員 公募設置管理制度Park-PFI導入の考えは。

町長 採算ベースをどう考えるか、民間企業で出店を考える人がいるかどうか。研究させてもらいたい。可能性のある議論だ。

議員 イベントの情報を、町が共有、活用する考えはあるか。建設課が窓口だが、魅力発信室などへ共有し、町が発信を。

みのわの魅力発信室長 公共性を判断し、各種媒体で周知、また情報発信する。積極的に町へ情報提供をいただきたい。

その他の質問

- 子ども家庭センターと教育委員会の連携
- 多文化共生の活動と学校教育

マイナンバーカードと 保険証一体化の考えは

しろとり しんご
白鳥 真吾 議員



町長 制度設計など国はしっかり説明を



議員 マイナンバーカードと健康保険証の一体化について考えは。

町長 国民の皆さん、また医療機関との利便性の向上、本人の同意により診察情報の提供が可能になる。正確なデータに基づき医療や薬の処方を受ける事ができるという意味では期待ができると思う。紐付け誤りのようなデメリットもある。デジタル化の方針、マイナンバー制度の制度設計、改善点などについて国はしっかり説明をするべきだと思う。

議員 今後、利用者が増えてくると思う。問題などがあった場合に相談ができる専用窓口の設置を。

町長 マイナンバー全体の発行利用については住民環境課の窓口で対応している。住民の信頼がなかなか得られないということが起きれば別格ですけれども、現時点では専用窓口を設ける必要はないのではないかと。国の方で専用の電話相談窓口がありますので、特別な相談については国の窓口をぜひお伝えしていきたいと思う。

中学校新制服検討の 現状は

議員 令和7年度予定で中学校の新制服が検討されているが、現在どのような段階か。

教育長 中学校と教育委員会では令和4年度11月に箕輪中学校制服検討委員会を立ち上げ、令和4年1月に小学校4年生から6年生・中

学校全学年へアンケートを実施、新制服導入を決定。新制服導入に関わる課題等を多角的に検討を始めている。

議員 教育委員会のホームページにこれまで行われた検討委員会の会議録が公表されていないので公表を。

教育長 会議録を開示するという事を委員の皆さんの許可を取っていなかったのが公開はしていない。昨年実施したアンケート結果を3月にみのわメイトで全小中学校の保護者の皆さんに配信した中に第1回・第2回でどのような内容が検討されたかという項目をつけて配信した。お話がありましたので検討させていただきたいと思う。

議員 新制服が始まると現在の制服のリユースが出来なくなることが想定される。新制服導入後について考えは。

教育長 令和7年度以降は移行期間をつくいますので、新制服と旧制服が混在する。その中でリユースも考えますけれども、それ以降については新制服のリユースに移行するので旧制服については特に考えている状況ではない。

もみじ湖観光事業

議員 今年も紅葉湖周辺景勝地には多くの皆さんがお越しいただくことが予想される。昨年の来場者数と今年の来場見込みは。

町長 昨年の来場者数は6万7,151

人。昨年度実績を考えまして、見込みは7万人程度をピークに想定。ピーク時に渋滞が発生しない来場者数の規模ということで想定をした。

議員 県道や周辺道路は日常生活で利用をする。車両が増え交通事故が発生する可能性が高くなる。誘導員の配置、案内板設置以外に交通安全対策を実施する内容はあるか。

町長 基本的には案内板の設置により、一定の方向に進むようにさせていただく。長岡または南小河内の三叉路から上については誘導員が相当数おりますので、交通安全には万全を期していく。

議員 町民の皆さんが優先に駐車する数を確保するなど、昼間の時間、町民の皆さんにお越しいただく時間の拡充を。

町長 1時間、もっと短い時間で何台という整理をして申し込みを受付・実施していて、フリーの方を入れるということができない。予約をしていただき、町民の皆さんに来ていただくことは可能。今はそれ以外の方法をとることができない。なんとかならないかという気持ちは持っているが、今後の検討課題にさせていただきたい。



再来年の町制70周年に向けての事業計画は

いりすぎ ゆりこ
入杉 百合子 議員



町長 町民参画で検討を始めていきたい



議員 再来年の2025年に町制70周年を迎える。過去にはどのような記念事業が行われたか。

町長 記念事業においては、カウントダウンイベント、萱野高原のヤマザクラの記念植樹祭、記念講演会、10年後の70周年に開封する未来へのタイムカプセル、土砂降りの雨の中で、400人を超える町民の皆さんで世界最大の紅葉の葉を作ったギネスの挑戦などがある。

議員 60周年と今回70周年を町長として迎えるに当たっての思いは。

町長 70周年については、町民の皆さんの心を一つにするような行事ができればいいかなと。

議員 記念事業として多くの町民の皆さんが参加するバス旅行を計画してはどうか。

町長 町として実施をしていく事業、各種事業で冠をつけていくような事業など、検討を始める。バス旅行については、コロナ後のことで、大きな事業実施は大変難しくなっている。ご意見をいただきながら決めていきたい。

果樹等農作物の猛暑対策を

議員 今年の夏の猛暑は平年の3倍の日数を記録していて、米や果実などの生育に影響が出ている。果樹では高温障害による日焼けの現象が出ているので、等級が落ちると収穫減は避けられないという。

今後の天候の注視が必要だ。町長の所見は。

町長 異常気象により農産物への影響があり、一部生産量が減少しているところがある。減収が大きい場合には対応していく必要があると思う。10月、11月の販売状況等を勘案しながら、支援の必要な状況かどうかを見極めていきたい。



小中学校の猛暑対策は

議員 今後、猛暑日が増えてくると思われるが、小中学校の屋外授

業の対応はどうか、検討の必要があると思うが。

教育長 小中学校の屋外授業では既に単元を入れ替えて、朝のうちに活動をするなど、時間の管理をしている。今年度だけではなく、今後様々な場面で屋外活動が危険ということもあるので対応していきたい。

議員 炎天下での屋外の授業や活動が制限されると思う。今後は体育館にクーラーが必要になるのでは。

教育長 体育館のクーラーについては、是非つくといいなと思っている。最終的には必要になるものだと感じている。

高齢者の熱中症対策は

議員 当町の熱中症による救急搬送の状況は。

福祉課長 町内の熱中症による救急搬送者数は7名で、内65才以上の高齢者が6名。昨年は町内全体で8名で、内65才以上は7名、箕輪町内では、高齢者の熱中症による救急搬送者数の割合がかなり高い状況だ。

議員 一人暮らしの高齢者の方や、エアコンを使用しない、エアコンが無い人達の体調管理のために、地域のコミュニティを熱中症の避難所として活用できないか。

町長 可能性や必要性を含めて、検討させていただきたい。

金利上昇が見えてきたが 資金運用の実績は

てらだいら しゅうこう
寺平 秀行 議員



町長 有価証券2億運用し利子50万円



議員 日本銀行は物価を上昇させるために、長らく低金利政策を行ってきた。金利を低くすることで市場に大量に資金を供給して、企業が投資を実施し、消費を活発にするためである。物価高騰を背景に、目標としていたインフレ率2%を超えた状況が続いている。低金利政策の転換、金利の上昇が見えてきた。金利の上昇は、資金運用にとってチャンスである。現状の資金運用の実績は。

町長 令和4年度の一般会計における基金の運用状況は、総額29億6,100万円である。このうち定期預金が27億5,600万円、減債基金の一部、有価証券で運用が2億400万円、出資証券100万円である。運用実態を見ると、利子は27億円の定期預金は12万8,000円、2億円の有価証券は50万4,000円ということである。

けない経費も含んでいると考えている。

財政調整基金は、災害などの緊急時に必要なお金もあるので、以前から10億円未満にならないようにする考えだ。このことに変更はない。運用益を出すことも財政経営では必要である。減債基金の一部や財政積み立ての一部について、当面活用しないだろうなというものについての運用はある程度あってもいいかなと思っている。



財政調整基金の増加分は
町民体育館改修の経費などに

学力向上の取り組みは

議員 標準学力調査に関連する傾向分析と取り組みについて、町では学力向上を図るために小学校3年生以上の全学年と中学生全員を対象とした標準学力調査を実施し、教科ごとの学力傾向や年度ごとの変化を把握し、課題の洗い出しとそれに対する解決策について共有したと説明があった。町では、具体的にどのような課題が浮かび上がったのか。

教育長 中学校において、全学年で5つの教科の定着度を評価する

テストを実施した。ただし、1年生に関しては、英語を除く4つの教科でテストが行われた。1年生の評価はほぼ全国水準の数値を示しており、小学校までの学習がほぼ十分に身につけていることが分かった。2年生と3年生において、教科ごとに定着が不足している領域も見受けられた。このため、今後の教科指導において、これらの分析結果を職員会議で共有し、改善に生かしていく。

標準学力調査では児童生徒への質問も毎年実施しているが、ここ数年で質問紙において良い結果や顕著な傾向が見られる。たとえば、肯定的な回答が多かった質問項目として、「先生はあなたの優れた点を認めてくれている」や「先生は授業やテストで誤った箇所や理解できていない部分について、理解が得られるまで教えてくれている」という点である。これらの質問項目に関して、小学校と中学校の両方で、国や県の平均を上回っている。

増えた財政調整基金 どうする

議員 財政調整基金は、年度間の財源の不均衡を調整するための積立金である。財政調整基金は、標準財政規模の10%から20%が適正とされている。箕輪町では、7億円から14億円が適正と計算されるけれども、18億円となった。どの程度ためるのか。これからどう使うのか。

町長 町民体育館とか武道館の耐震化等の事業に使わなければい

その他の質問

- 令和4年度決算
 - ・ 町税収入・実質収支への町長の所見は
 - ・ 資金調達の今後の方針
- 産業振興
 - ・ 農業と産業の均衡ある発展に向けた企業誘致の進め方
 - ・ 農業委員会との連携

高齢者世帯の健康な食生活支援について

なかざわ きよあき
中澤 清明 議員



町長 現在はしていないが勉強する



議員 健康な生活の基本は食にありと言われ、人間ドックや病院での栄養指導でも食材や栄養バランスを考え、減塩やカロリーを控えるなど指導がされているが、要介護の高齢者世帯や一人暮らしの高齢者世帯ではこうした事を取り入れて、毎日の献立を考えて調理し指導通りの食生活をするは大変困難である。栄養士からは宅配給食の利用も勧められたが年金暮らしの高齢者には高額な負担となる。南箕輪村では配食サービスに助成をしているようだが箕輪でも検討していただけないか。

町長 高齢者に対する食支援は行われていないのが現状である。配食サービスへの助成も食事が作れない高齢者の切り分けが難しく実施できていない。食事に対する支援について勉強しなきゃと思う。

高齢者世帯の生活の足確保

議員 高齢者の生活の足確保については様々な実証実験施策がされてきたが利用状況は低調であった。南箕輪では無料の福祉移送サービスを行っており、専用車両で希望する時間に通院、買い物に利用でき、大変好評とのことである。近年、高齢者による悲惨な交通事故は大きな社会問題となっているが、自家用車が必需品の田舎では車が無くても暮らせる環境整備が必須である。町でも高齢者が

安心でき、満足できる高齢者の足確保施策を展開して頂きたい。

町長 車のない方に支援の輪を広げるというのはそのとおりと思うが、歩ける方にはバス方式、歩けない方にはタクシー方式だと思う。今回のまちなかタクシーは利用いただけると考えている。



まちなかタクシー

障害者グループホームの進捗状況

議員 地元説明会がなされてから3年ほどになるが、現在の進捗状況はどうなっているか。計画の取りやめもあり得るのか。

町長 町としては建設したいと考えている。現在、フレンドワークとセットでの運営を社会福祉協議会に打診しているが、いくつかの課題もあり、なかなか進まない現状にある。

小中学校における物価高騰対策

議員 ①ガソリン等物価高騰が学校運営に与える影響と対策は。

②修学旅行費、教材費、給食費などで保護者負担の値上げは考えるか。

教育長 ①給食食材、光熱水費、学習教材、旅行費用など大きな影響が出ている。学校では節電節約に努め購入教材も精選し、不要なものを買わないようにしている。

②保護者負担の増額はできるだけ避けたい。教育の機会維持、確保の視点から町からの補助について相談していきたい。

沢大出地区の雨水排水対策工事

議員 国道バイパス地下に掘削した基幹下水道に流入させる排水路の工事の進捗はどうなっているか。

町長 実施すると答弁もし、予算も認めていただいたが遅れていて申し訳ない。技術的問題で排水路のルート変更が必要となり、コンサルに調査設計を発注中でこの結果を待って実施して行きたい。

議員 雨水排水計画は多額なお金を掛け策定したもので、平成24年には広報みのわで300億を掛けて雨に強いまちづくりを進めると大々的に発表している。その雨水排水計画が実現不可能で、再度調査設計が必要になったことは大変大きな問題である。町長の見解は。

町長 私に力がないから出来なかったとも思うが、膨大なことを申し上げて出来ることではないので、現実的に出来ることをやっていくしかないと思っている。



箕輪町議会

覗いてみたい!

議長の一日常

議長ってどんなことをしているの？
荻原議長の多忙な1日を覗いてみました。



早朝 牛舎で牛の世話

朝5時半、牛の餌やりをします。
自分は朝食を食べません。50頭以上の牛の健康状態を1頭1頭チェックしています。



9時 役場議長室で書類の確認

会議の開催通知や、式典の招待通知の確認のほか、メールチェック、議長決裁処理をしています。



会議に出席 10時



町の審議会や委員会への出席のほか、上伊那広域連合や伊那中央行政組合などの会議へ出席します。
町村議会議長会で東京や長野市へも出張します。



21時

1日お疲れ様でした

帰宅

19時



懇親会への出席
会議のあとは、懇親会に出席することもあります。



イベントに 来賓として 参加し挨拶 15時

議員の代表として挨拶を求められます。常に挨拶することを意識して参加しています。



9月10日

荻原議長の スケジュール

- 9月1日 定例会初日
- 3日 防災訓練に参加
- 4日 一般質問通告書チェック
地区社協委員会
- 10日 町消防団第2.4.5分団模擬
火災訓練
町交通安全協会親睦マレット
ゴルフ大会
- 11日 9月定例会一般質問
- 12日 //
- 13日 9月定例会委員会審査
で現地確認
- 14日 総務産業常任委員会審査

- 15日 議会運営委員会
定例会委員会審査
地区懇談会
- 17日 ふれあい広場
- 19日 9月定例会最終日
議会懇親会
- 21日 秋の全国交通安全運動
人波作戦
伊那中央行政組合議会
定例会(伊那市役所)
- 23日 町内一周駅伝 表彰式挨拶
- 24日 区社協敬老会 挨拶
- 25日 長野県町村議会議長会研修
会・部会(長野市)
- 26日 伊那中央行政組合例月監査
- 27日 太陽光パネル現場視察
(辰野町小野)
- 29日 箕輪中学校ふきはら祭
議会運営委員会
議場システムデモンスト
レーション
- 30日 箕輪中学校ふきはら祭
- 10月3日 上伊那広域連合議員視察
- 4日 //
- 5日 町商工会建設部会
- 10日 総務産業常任委員会行政視察
- 11日 //
- 12日 //
- 15日 松本山雅ホームタウンデー
- 18日 フェンシング箕輪町全国大会
実行委員会
- 20日 上伊那広域連合管内研修
- 21日 東京箕輪会総会(豊島区)
- 23日 長野県町村議会議長会定期
総会(長野市)
- 25日 戸草ダム視察
伊那中央行政組合例月監査
- 26日 議会運営委員会
臨時議会 定例協議会
- 27日 箕輪交通安全緑十字定期総
会
- 28日 木下区民文化祭開会式
箕輪進修高校100周年記念
祝賀会

議会活動日誌

活動の一部を紹介します

7月

- 5・10日 議会広報特別委員会
- 14日 町村議会議員研修会（松本市）
- 18日 臨時議会
議員定例協議会
議会運営委員会
- 28日 箕輪町西部関係各区懇談・懇親会



8月

- 21日 上伊那広域連合議会定例会
- 23日 議員定例協議会
議会運営委員会
総務産業常任委員会学習会
- 29日 新人議員学校視察



9月

- 1日 9月定例会 開会
議員定例協議会
- 11・12日 9月定例会 一般質問
- 13～15日 9月定例会 委員会審査
- 15日 議会運営委員会
- 19日 9月定例会最終日
議会広報特別委員会
- 21日 伊那中央行政組合 9月定例会
- 22日 議会広報特別委員会
- 25日 長野県町村議会議長会研修会・部会
- 26日 全国町村議会議会広報研修会（東京）
- 27日 総務産業常任委員会
太陽光発電施設視察
- 28日 議会広報特別委員会
- 29日 議会運営委員会



8月29日
火

新人議員が行く 学校視察

新人議員の自主研修として、北小学校と中学校を訪問。

■ 小学校では清掃に力を入れており、廊下は磨きがかかり、児童の心も磨かれていることが想像できました。廊下のセンターに置かれたペットボトルは、子どもたちが考えた歩き方の目安になっています。特別教室棟は木のぬくもりが感じられ、落ち着いた雰囲気での授業でした。

■ 中学校ではパソコン画面をホワイトボードに映し出し、DXの進んだ授業を参観。また、登校に不安や配慮の必要な生徒のための教室を視察できました。

■ 新制服の検討状況も生徒の意見を取り入れた計画の説明を受けました。

■ 教育現場の状況を実際に確認でき有意義な視察となりました。



議員は見た



9月27日
水

再生エネルギーの関連条例を研修

辰野町は令和2年に同条例を制定し、町民と業者の円滑な関係づくりに努めてきましたが、地元区や近隣住民の同意を得ずに太陽光パネルが設置された。そのため2度の改正を行っています。箕輪町でも県条例の施行を注視しながら、町独自の条例制定の検討が始まっています。農地や景観との調和を図りつつ、エネルギーの地産地消が進むよう、委員会としても先進地に学びながら提言していきます。



委員会研修報告

9月26日
火

東京日経ホール「議会広報研修会」

“みんなのざかい”を制作する議会広報特別委員会メンバーで研修に参加いたしました。

広報担当者が知っておくべき「法律知識」や、「読者を夢中にさせるタイトルや小見出し」、「目立つレイアウトデザインの鉄則」など、今後の企画のヒントになる内容でした。町民の皆さまに、「開きたい」と思ってもらえる広報になるように頑張っていきます。





イオン箕輪店内にある箕輪町障がい者地域活動センター「みのわ〜れ」の店長を務めています。赤ちゃんの声が聞こえる、多世代交流施設のレストランです。

入杉 百合子



小出嶋 文雄

収穫の秋です。わが家の小さな果樹園の梨「南水」です。今年は猛暑続き、雨も少なかったので少し小ぶりかな。

議員のすがお

前号の新人議員紹介で大好評だったコーナー。今号では、2期目以上のベテラン議員の4人をご紹介します。



野球大好き。亜細亜大学での軟式野球部まで野球一筋でした。プロ野球は中日ドラゴンズ、ファン歴50年になりました。

中村 政義



中澤 清明

団塊世代の最後でもうすぐ後期高齢者。気持ちはいつも青年。お酒と温泉が大好きで、ながた温泉によく行ってます。

次号は、金澤、岡田、寺平、荻原議員です。お楽しみに!

議会へ手編みの座布団をいただきました

箕輪町議会で温かい座布団を使って、9月15日に手編み座布団20枚を寄贈いただきました。贈っていたいたのは伊那市にお住まいの三澤清一さんと妻で箕輪町木下出身の節子さん。節さんは現在91歳で、直径およそ45センチの毛糸の座布団を1週間に1枚ずつ編んでいるということです。彩りの少ない議場や、議員室がぱつと明るくなる色とりどりの毛糸で編ま

れた座布団は、これから迎える寒い冬に、体も心も温かくしてくれそうです。議員や町長がそれぞれに大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



編集後記

歴史的猛暑になった夏から、季節が少しずつ進んでいるのを吹き抜ける風や赤そばの花、コスモスの花など自然の彩りを見ることで感じています。新しい広報委員になり2回目の「みんなのぎかい」発行になりました。原稿などを作成するにあたって新しく知ることもあり、日々勉強をしなければと実感しました。議会の様子をわかりやすくお伝えするには、どんな言葉づかいでどんな内容にすればいいのかアイデアや意見を出し合い作成をしました。お読みいただきました感想などをお寄せください。(白鳥真吾)

議会だよりに関するご意見がありましたらお寄せください。

議会事務局 電話 0265-79-3187(直) gikai@town.minowa.lg.jp

告知 議会 広報モニター

次号87号で、「議会広報モニター」を募集します。広報モニターとは「議会傍聴」などの活動を通して、意見や提案を町民が行ない、議会運営に反映させることです。詳細は次号をご覧ください!